

2008年7月18日

NPO法人全国被害者支援ネットワーク
理事長 山上 皓 様

東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞社
役員待遇広報担当 松本 正



冠省

平素より弊社の記者が取材などでお世話になっております。厚くお礼を申し上げます。このたび、弊社社長秋山耿太郎宛に「要請」をいただきました。職掌上、社外の方からの抗議や申し入れなどにお答えする広報部門の責任者である私からご返事をさせていただきます。

鳩山法相が法律に基づいて死刑執行を命じていることを問題にするつもりは全くありません。

一方で、法相は昨年9月25日の記者会見で、「半年以内に死刑は執行されねばならないという規定が自動的に進むような方法はないのか」と語った後、「ベルトコンベヤーと言っ
てはいけませんが、順番通りということなのか、それとも乱数表なのか、わからないけれど」と述べています。その発言の後、ほぼ2か月間隔で死刑の執行を命じ、就任から1年足らずで13人の死刑が執行されました。

「素粒子」は、死刑の執行にかかわる鳩山法相のこうした一連の言動などを踏まえ、短行で批評したものでした。

この「素粒子」が犯罪被害者遺族の方々にどのような気持ちを起こさせるかについては、執筆時には考えが及んでいませんでした。ご批判を厳粛に受け止めています。

犯罪被害者遺族の方々が凶悪な犯罪を引き起こした被告に死刑判決を求め、確定死刑囚の死刑執行を望むお気持ちについては、弊社としても十分理解しております。

全国犯罪被害者の会（あすの会）に対しましては、誠意を持って回答させていただいて
います。

今回のことを教訓として胸に刻み、犯罪被害者遺族の方々のお気持ちにいっそう心を配
って取材・報道にあたってまいります。

ご理解いただきたく、お願い申し上げます。

草々